

全体コンセプト:

こかげの庭とほっこりダイニング

施設用途の特性上、全体的の雰囲気として「こころ休まる安心できる空間」を目指しつつ、1階エントランスと2階個室では、求められる場所が異なることから、1階と2階のコンセプトを分けて設定しました。



1階コンセプト:

こかげでくつろぐ空間

こかげに気軽に立ち寄りような感覚で利用できる空間になるように、大阪府の森に生える木の姿を想像できる枝付きの丸太材を利用したベンチを設置します。このこかげベンチが、1方向に向かいがちな視線を散りばめ、自然とパーソナルエリアが確保できるため、よりこころが落ち着く空間を創出します。



ミーティングルームイメージ

2階コンセプト: インテリアでアットホームな木質化

まるで自宅や友人宅のダイニングにいる感覚で、ゆったりくつろげるように、過度に木質化するのではなく、ブラインドやペンダントライトといったインテリアを木質化することで、心地のよい空間をつくります。

会議テーブルの天板や椅子を木製に交換し、正面の大きなガラス面には縦型のブラインド、両サイド壁面には間接照明のボックスを設置します。明るさが必要のない場面では間接照明の明るさを調整することができます。ミーティングルームの入口には、大きな無垢の天板を製材する際に、整形ではない板をスライスして壁に貼り付けます。この少しの木質化だけでも自然の風合いが感じられます。



ミーティングルーム入口壁面(廊下側)イメージ